

(毎月 1 日発行、創刊号平成 23 年 4 月 11 日)



復興ニュース

153 号
2017 年
1 月 4 日

手芸講習 800 回開催 女性の生きがいを支援 ～ 5 年間で 延べ約 6,200 名の参加 主催:夢ネット大船渡 ～

平成 24 年 4 月から仮設住宅で始まった手芸講習は、平成 28 年 12 月 12 日の陸前高田市小友町西下団地(災害公営住宅)で 800 回目の開催となりました。この間ジャパン・プラットフォーム(JPF)・中央共同募金会・復興庁の「心の復興」からそれぞれ助成を受けて開催出来ましたことに心から感謝いたします。

★ 5 年間の開催回数と延べ参加者数

年度	開催回数	延べ参加者数	備考
24	61	674	JPF 助成
25	130	1,022	
26	155	1,283	手芸指導者育成
27	253	1,675	指導者 8 名
28	215	1,564	28 年 12 月末まで
計	814	6,218	



★ 全国から布地や裁縫道具

被災者から手芸の布地や裁縫道具の支援相談を受け、平成 23 年 9 月ころからネットで全国へ支援をお願いしたところ、多くの方から布地や針など、ミシンまで贈って頂きました。復興ニュースで手芸材料の必要な方を募集した結果、約 200 人以上の方々へお届けしました。

★ 手芸作品展と交流 そして手芸講習

平成 24 年 2 月に手芸作品展を陸前高田市では米崎コミセン、大船渡市はカメラアホールで開催し大変好評でした。同会場アンケート調査の結果、今後趣味としたい方 7 割、内職へ繋がりたい方 3 割でした。内職希望者には「こしゃる三陸」との名前で、三鉄盛駅や通信販売として行いました。趣味として続けたい希望者には、仮設住宅での手芸講習として始まり現在に至っております。



今年も歌います！

～大船渡市「末崎カラオケ同好会」～

震災前から行っていましたが、震災直後寂しさや悲しさの被災地を元気にしたいと再開しました「末崎カラオケ同好会」(熊谷信弘代表)は、今年度ご近所支え合い活動助成金を受け、これまでの末崎地区公民館から平南アパート集会場へ会場を変更し、毎週火曜日と金曜日の午後 1 時 30 分～4 時まで(参加費毎回 200 円)行っています。

訪問した 12 月 16 日は会場いっぱいの 25 名の参加者、リクエストが多いため一人 2 曲までは 3 番まで、3 曲目からは 2 番までとし約 60 曲ほど歌われて盛会でした。代表の熊谷さんから「健康とボケ予防、親睦にカラオケは最高」と話され、多くの人に来ていただきたいと伝言を依頼されました。

常連の川原昭次さん(87 才)に聞きますと「カラオケが一番の楽しみ、これが長生きの秘訣でしょうね」と高田のカラオケへも毎週通う熱心さでした。他の参加者からも「来れば色々な人にも会えるし、知らない歌も聞くことが出来る」とカラオケが生きがいとなっているようでした。

また、参加していた岩淵孝二さん(81 才)は、高田町の大石公民館を会場に毎週水曜日午前 9 時～午後 5 時まで「すずめの学校」の名前でカラオケを主催されています。毎回 20～30 人が参加して頂き、「参加者がカラオケを楽しんでくれるのが私の生きがいです」とお世話役を行っています。

「復興ニュース」合本号 3月初め発行予定

約700ページの大冊 ～ご寄付者へ合本号贈呈～

「復興ニュース」は震災翌月の平成23年4月11日付で創刊号を発行し、平成28年12月で152号(5年9か月間)となりました。

平成23年5月17日の第17号からは、愛知ネットから派遣されましたボランティアさんが発行担当となり、A4版1ページから2ページになり、20号からは4ページの発行としました。

平成24年1月からは気仙市民復興連絡会の一部事業を引継いだ夢ネット大船渡が、第57号から発行を行っています。

復興ニュースは、震災直後からの被災地の状況を長期に渡って記録していますので、全国どこにでも自然災害が発生する恐れのある現在、一部の地域の活動ですがNPO等の活動の参考になるのではないかと考え、誠に恐縮ではありますが、全国の支援者や地元の方々のご寄付で発行することに致しました。何卒ご協力下さるようお願いいたします。

一口2000円とし、一口以上の寄付者へは「復興ニュース合本号」をお届けすることになっています。

ご寄付先 郵便振込 口座記号・口座番号 02260-8-118702

加入者名 特定非営利活動法人 夢ネット大船渡

※ 寄付者の住所・お名前・電話番号を必ずご記入下さい。平成29年1月末が〆切日としています。市内の方は三鉄盛駅でも受付しています



奥州市から 被災者激励に訪問

～ 演芸みなみ寿座・ひたかみ福祉会ワークみずさわ・溪雲山龍徳寺 ～



「咲かそう笑顔・つくろう元気」のもと、奥州市から訪問のお楽しみ演芸劇場が、平成28年12月14日(水)午前中大船渡町の災害公営住宅上平アパート、午後は末崎町居場所ハウスで開催されました。

最初に奥州市の龍徳寺宇津野則昭住職による東日本大震災の犠牲者慰霊法要が行われた後、演芸みなみ寿座(高橋安三郎座長)から舞踊やフラダンスの披露、特別ゲストの夢ネット大船渡岩城理事長のマジック披露、ワークみずさわ(千葉信事務局長)からスコップ三味線の披露、ワークみずさわの授産品の豆腐や年越しソバ(小山製麺提供)が

Xmasプレゼントとして参加者へ振舞われました。

同団体は平成25年9月から被災地訪問を始め、今回で12回目となりました。千葉信さんは、被災から5年9ヶ月を過ぎましても、復興はまだだと感じております。障がい施設の私どもも、色々な方に支えられておりますことから、お互い様の精神で被災者のひとときの笑顔を見るために、沿岸支援活動をこれからも続けていきたいと考えております。「笑顔から 明日の未来に希望あり」。

平成28年度復興支援基盤強化事業

寄附募集セミナー 1月19日 陸前高田市コミュニティホール

今後被災地の課題が益々顕在化していく一方で、活動資源は減少傾向にあります。そのような現状だからこそ、地域内の行政・企業・市民などはもちろん、東京をはじめとした県外の多様な方々へ自分たちの活動を伝え、共感を得て、様々な資源を獲得する必要があると考えます。

NPO関係者はもちろん、企業や行政の方々にも是非参考にご参加をご案内します。

- ★ 日時 平成29年1月19日(木)13:30～16:00
- ★ 場所 陸前高田市コミュニティホール 大会議室B 参加無料 定員50名
- ★ 内容 (1)講演 13:30～14:40 講師:イノウエヨシオ 「共感を得るために必要なこと」
(2)14:40～16:00 「発信力強化ワークショップ」(テーマ:短時間で心をつかむ!)
- ★ 申込 FAX 0197-72-6201 (いわて連携復興センター)
①氏名(ふりがな)、②団体名、③活動概要(任意)、④TEL・fax、E-Mail
- ★ 主催:岩手県 運営:いわて連携復興センター

ボランティア募り 沿岸被災地へ延べ 90 回 800 人を派遣

復興応援団きたかみ 副代表 松田正徳さん



北上市に住む松田正徳さん(左の写真中央のサンタ姿:56才)は、東日本大震災に当たり全国からボランティアを募集し、沿岸の被災地支援を行って来ました。

夢ネット大船渡の事業へも三鉄盛駅舎の清掃を始め、ほら吹き大会など色々のイベントへのご支援を受けました。

松田さんが行って参りました災害ボランティアは、阪神淡路大震災(1995年)、新潟豪雨水害(2004年)、新潟中越地震災害(2004年)、東日本大震災、熊本地震、岩泉台風災害です。災害以外でも弁当配達、通訳、筆談、将棋指導、傾聴等を行っています。

松田さんから被災地支援の体験談をお聞きしました。

- ★ 阪神淡路大震災では、自衛隊仮設風呂の受付を行い、一晩で数百の「ありがとう」を被災者から頂きました。ボランティアとは「ありがとう」を受け止めることなんだと知りました。
- ★ 新潟豪雨水害では、宿泊ボランティアのお世話になり、お風呂・飲み物・食事・布団などすべて提供して頂きました。
- ★ 新潟中越地震では、仙台宮城災害ボラバスの方から「災害ボラセン設営」の手引きを頂き、以後毎年災害ボランティアコーディネーター・災害ボラセン運営スタッフとして、何かあったら「岩手・宮城助け合おう」を合言葉としています。
- ★ 東日本大震災では、①大震災の悲惨な状況が目に入り、悲しくて辛くて意気消沈して、下を向いて現場に行くと、作業服姿の私たちを見て「おはよう、ご苦労さん」と挨拶され、元気を与えようと思って来たのに、逆に元気をもらいました。こういう現場ばかりでした。
②大槌小仮設や高田の滝の里仮設へ、イルミネーションを設置したが作業が終わっても日が暮れず、点灯状況を見ることが出来ずに帰ったこともありました。
③大船渡市社協ボラセンターは温かいボラセンでした。スタッフが道具を準備してくれ、道案内してくれ、時には作業現場と一緒に作業をしてくれました。他のボラセンでは古い地図を見ながら現場を探さなければならず、教えられたコンビニは基礎だけ残っていたこともありました。
④疲れた被災者を歌で癒してやりたいと、歌手の浜守栄子(浜ちゃん)さんへ少ない予算でお願いし、粗末な仮設ステージや大船渡のリアスホール(ほら吹き大会)で歌って頂きました。いっぺんに浜ちゃんファンになりました。
- ★ 熊本地震へは、高速バスを乗り継いで行きました(理由は料金が安いから)。
- ★ 台風10号被害の岩泉では、東日本大震災の際にお世話になった多くの方々との再会しました。災害があれば遠方から駆けつけてくれる多くの仲間へ感謝しました。



「増田進 患者と生きる」上映 ご来場に心から感謝します

12月10日大船渡市リアスホールで、午後3時からと6時30分からの2回上映。この間の5時15分から増田医師との話し合いを行いました。多くのご来場を頂き心から感謝いたします。また、上映に当たり入場券の販売等に多くの皆様のご協力を頂きました。

患者と医師の関係や包括ケアについて考えさせる映画でした。

甫嶺駅海側へ花の苗木を植える

さんりく基金の助成を受けて、甫嶺駅の海側用地へ甫嶺の皆さんと共に菜の花や水仙を植えました。春の花の季節にはみんなで花見をしたいと思っています。

12月24日には、三鉄沿線花いっぱい事業として看板前にドウダンツツジ、サザンカ、椿と計17本の苗木を植えました。鹿の食害を防ぐためのネットを取り付けしましたがどうなるのでしょうか。



※写真は甫嶺駅海側へ設置の看板とネットを取付け植えた苗木



謹賀新年 今年もよろしくお祈りします

2017年元旦

NPO法人夢ネット大船渡

昨年中は夢ネット大船渡並びに三鉄盛駅へのご協力・ご支援に対し心からお礼を申し上げます。

昨年は夢ネット大船渡創立10周年記念感謝イベント、手芸講習800回目の開催、復興ニュース150号を発行することが出来ました。これも偏に多くの皆様のご支援の賜物であり心から重ねてお礼を申し上げます。

迎えました平成29年は震災から6年目となります。まだ多くの人たちが仮設住宅で暮らしている厳しい被災地です。復興工事に加えて人口減少・高齢化時代となり様々な課題が山積している地域の中で、夢ネット大船渡やNPO関係者がこの社会的課題を解決するための活動が問われている年ではないかと思っております。

新年も皆様の一層のご支援・ご指導を心からお願いし新年の挨拶といたします。

※ 写真は夢ネット大船渡の手芸講習（大船渡市内）で作りました干支の酉です。

各災害募金へのご協力に感謝！三鉄盛駅待合室へ募金箱設置

歳末助け合い募金 7,973 円（大船渡市社協へ届ける）

三鉄盛駅（夢ネット大船渡が運営）では待合室へ募金箱を設置し、災害や助け合いへ駅利用者へご協力をお願いしました。熊本地震災害（81,164 円）、岩泉台風災害（47,655 円）、歳末助け合い募金をを行いそれぞれ送金（届ける）しました。ご協力に心からお礼を申し上げます。



三鉄 Xmas 列車 <<三鉄盛駅主催>>

恒例のクリスマス列車は、12月25日午後2時00分盛駅発の列車内で行いました。鎌倉市の紙芝居師なっちゃんのお洒落な演技、ピンゴゲーム、手品、クリスマスソング合唱、そして全員へのプレゼントなど、盛り沢山の楽しみ行事を喜んで頂きました。

参加者の方から「釜石までの往復2時間、子どもと一緒に楽しませて頂きました」と感謝の言葉が寄せられました。

三鉄盛駅からのご案内 申込先 TEL 0192-47-3542

◆ お正月お楽しみ列車 定員 40 名 <<申し込み必要>>

すべてのお子さん 500 円（1 才未満児無料）、大人 1,000 円（乗車料含む）です。

★内容：お菓子・飲み物・ゲーム等 ★食べ物・飲み物等車内持ち込み自由です

日時 1 月 8 日（日）13 時 30 分盛駅集合 ※ 空席少なくなっています

盛駅発 14：00 釜石駅往復 盛駅着 16：10

◆ 三鉄駅からウォーク <<申し込み必要>> 地元の魅力再発見・全コース約4^{km}

1 月 14 日（土）8：30 三鉄盛駅に集合 盛駅発 9：13⇒陸前赤崎駅着 9：18

ウォーク出発 9：30 ⇒ 田畑観音堂（新築された）⇒ 巖島神社（見学・休憩）⇒

陸前赤崎駅発 11：45 ⇒ 盛駅着 11：50 参加費 300 円 〆切 1 月 11 日

◆ 無料法律相談 <<申し込み必要>> お気軽にご相談下さい どんな相談でもよろしいです

東京のNPO法人ヒューマンライツ・ナウから弁護士と税理士が来ます

1 月 22 日（日）9：30～11：30 一人 40 分間

申込先：三鉄盛駅 TEL (0192) 47-3542 秘密を守れる部屋で対応しています

この復興ニュース発行には
岩手県福祉基金からの助成と
元気人間製造研究所（大阪府堺市）
酒田砂丘開発株式会社（山形県）
のご寄付を受けています。

～ご意見、ご感想をお寄せください～

あて先：NPO法人夢ネット大船渡

*〒022-0003

大船渡市盛町字内の目14-15

*Tel/fax 0192-47-3271

*メール npoyumenet@bz01.plala.or.jp